

ロックの王女様！！

柚木夢羽

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

「私はミュージシャンになる」

少女は胸に目標を掲げギターをかき鳴らす。

目次

スクリーンの中のミュージシャン

スクリーンの中のミュージシャン

花京院^{かきょういん} 絵里^{えり}の朝は早い。

彼女は、まず朝5時に起き、地下室に降りて相棒のストラトキャスター型のエレキギターを台座から下ろす。

そして、クロスと呼ばれる専用のタオルで自分の指紋や汚れをふき取る。それもさっとふき取る、のではなく念入りに15分はかけてふく。

彼女なりの道具に対する最大の敬意だ。

これを毎朝しないと、彼女の朝は始まらない。

彼女はかれこれ10年近くギターを弾いているが毎朝これを繰り返し返している。

それが終わると、防音加工がされている地下室部屋に行く。

地下室を完全に締め切るととりあえずアンプと呼ばれる、音量増幅器にギターを繋げ、一度弦を弾いて、ペグをと呼ばれる音をチューニングする部品を回す。

それから何度か弦に触ったりペグを何度も回転させて、完全に調整を完了させる。これはギターの音の上下を調節させる為の『チューニング』と呼ばれる行動だ。

それから、課題曲の練習を始める。

今日は『deep purple』のsmoke on the waterだ。

この曲はギタリストの登竜門のような曲で、シンプルなコード進行だがギターの必須と言っているいいテクニックがほぼほぼ使われている曲だ。

プロのギタリストの小野瀬正雄も「smoke on the waterを笑うものはsmoke on the waterに泣く」といったほどの曲だ。

そんな曲を6時半くらいまで、練習に費やす。

彼女の演奏はプロ顔負けでほぼ完璧と言っても過言ではない、が本人は何かが入らない様子で、部分練習を幾度となく繰り返し返す。

そんな完璧を超えた何かを探すような練習が終わると、1階のキッチンに行き、二人暮らしの親と自分の朝食の支度をするために、ギターを足代に戻し1階のキッチンに行つて二人前の朝食を作る。

その間、ワイヤレスのスピーカーで洋楽を流す。

今朝流すのは、『QUEEN』の3rdアルバムのシアーハートアタックだ。

このアルバムは登場人物が特徴的なポーズを取る某異能力バトル漫画に出てくるので、名前だけ知っている人も多い。

そんなQueenの曲に料理する音が混ざる

このアルバムがディーアフレンドが終わる頃には、目玉焼きと簡単なサラダやほんのり焦げ目付いたトーストが食卓に並ぶ。

もうすぐ、父親が起きる時間だ。

絵里は、父親の為にモカと書かれた袋から黒い粉をスプーンですくつて、機械に投入した。

するとコーヒーがマグカップ一杯分出てくる。

それを食卓に出してから、洗面所に向かい、洗顔と歯磨きを済ませた。